

2-3 現状と課題

2-3-1 年度別費用別割合

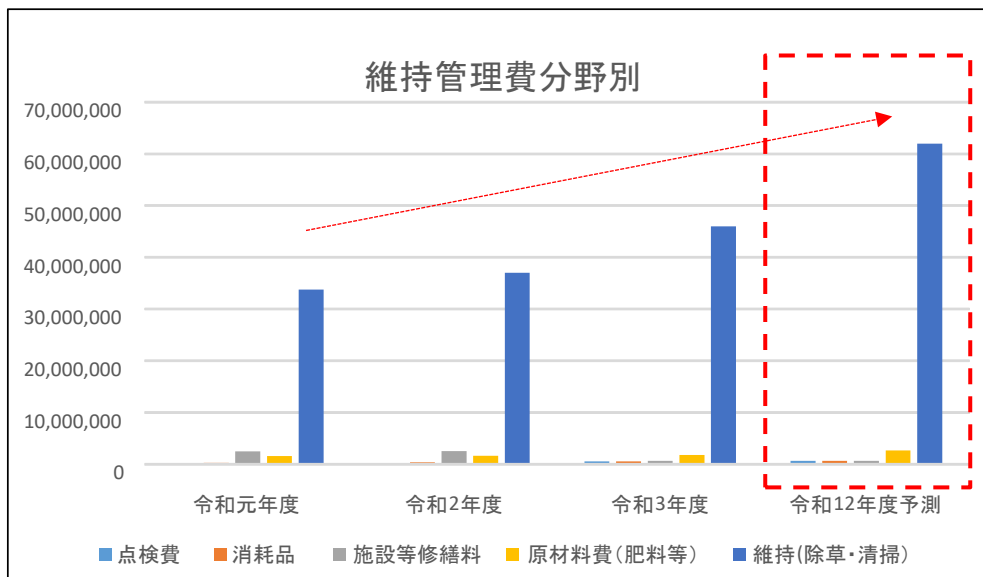
直近3カ年の実績を踏まえて、令和12年度の維持管理費用の試算結果を以下に示します。

表 2-8 令和12年度維持管理費予測

年度	点検費	消耗品	施設等 修繕料	原材料費 (肥料等)	維持(除 草・清掃)	金額	除草比率
令和元年度	0	308,133	2,505,252	1,601,856	33,773,444	38,188,685	88%
令和2年度	0	382,359	2,539,350	1,618,615	37,032,692	41,573,016	89%
令和3年度	583,000	590,145	698,588	1,840,600	46,009,126	49,721,459	93%
令和12年度予測	666,000	666,000	664,000	2,656,000	61,962,000	66,614,000	93%

年3%の物価上昇率を考慮し、10年後(令和12年度)の維持管理費用について試算した結果、現況の状態を継続した場合、年間約6,600万円程度(現在の1.3倍程度)の費用を要すると予測されます。

図 2-4 令和12年度分野別維持管理費予測



2-3-2 分析

毎年総額、38百万円～49百万円(10年後予想では約66百万円)の維持管理費用が必要と想定され、毎年、上昇する傾向と予測されます。

現在の維持管理費用のうち約9割が除草費用分で、令和3年度実績では、前年対比で約3割程度費用が上昇しています。

2-3-3 公園における課題抽出

上士幌町公園施設についての分析結果から、現状課題（面積、供用年数、パークゴルフ場の有無等）を整理します。

表 2-9 各公園施設概要

都市公園	面積 (㎡)	都市公園 個別面積率	供用年度 (年)	経過年数 (年)	経過年数 30年超	パークゴルフ場
①中央公園	14,205	4%	1982	40	○	—
②たか台公園	37,000	10%	1983	39	○	有り
③交通公園	6,750	2%	1989	33	○	有り
④航空公園	305,017	79%	1991	31	○	有り
⑤熱気球ふるさと公園	5,734	1%	1995	27		—
⑥ふれあい公園	6,976	2%	2006	16		—
⑦糠平中央公園	5,051	1%	2016	6		—
⑧糠平文化ホール公園	4,092	1%	1991	31	○	有り
小計	384,825	100%		28	6カ所	
全体面積率	94%					
街区公園等	面積 (㎡)	都市公園 個別面積率	供用年度	経過年数	経過年数 30年超	パークゴルフ場
①六差路児童遊園地	579	2%	1998	24		—
②西地区児童遊園地	1,630	7%	1969	53	○	—
③3の2区児童遊園地	1,301	5%	1973	49	○	—
④16区児童遊園地	1,392	6%	1980	42	○	—
⑤北団地児童遊園地	850	4%	1979	43	○	—
⑥ふれあい団地児童遊園地	6,211	26%	1997	25		—
⑦西地区遊園地	501	2%	1985	37	○	—
⑧9区遊園地	3,150	13%	1980	42	○	—
⑨11区ポケットパーク	1,798	7%	1996	26		—
⑩みどり団地緑地・道路用地	4,429	18%	2012	10		—
⑪みなみ野団地緑地	2,176	9%	2000	22		—
小計	24,017	100%		34	6カ所	
全体面積率	6%					
	408,842					

(1) 課題：供用からの経過年数長期化（老朽化進展）

都市公園、街区公園等共に供用後から長期間の年数を経過しており、平均供用年数は都市公園で28年、街区公園等で34年となっています。一部遊具等の更新などは行われているものの、供用後30年を超過している公園は都市公園で6公園（都市公園の75%）、街区公園で6公園（街区公園の54%）となっています。

10年後には供用が比較的新しい「ふれあい公園」、「糠平中央公園」、「みどり団地緑地・道路用地」を除き、ほとんどの公園が期間30年を超え、老朽化の進展による施設健全性の低下が懸念されます。

(2) 遊具施設等の更新、撤去、修繕

遊具施設等については、これまで必要に応じて更新、撤去、修繕が実施していますが、設置から30年以上経過しているものもあり、老朽化が進展しています。また、状況的に利用されていない、あるいはその頻度が極めて少ない施設も存在しており、これらの維持管理方針の設定や保全対策が必要となっています。

2-4 長寿命化費用の算出

2-4-1 耐用年数の設定

施設の耐用年数の設定は、「適化法」（「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令」昭和30年政令第14条の規定に基づき、国土交通大臣が定める処分制限期間を参考にしています。

長寿命化対策を実施する場合は、老朽度の程度を勘案し、処分制限期間の2倍程度の延伸を設定することとしています。（資料編参照：国土交通省所管補助金等交付規則）

2-4-2 更新資材費用

施設の更新・改築及び塗装・修繕にかかる単価については、建設物価（建設物価調査会2022年10月版）掲載単価を参照し、整理しました。（類似、代用施設を含みます。）

それ以外のものについては各メーカーのカタログ、参考価格等を参考にしています。

2-4-3 労務費の算出

更新、撤去、修繕については、所要の労務費用を標準歩掛や、業者ヒアリング等に基づき設定しています。

2-4-4 更新費用

更新費用は更新に伴う作業工数を勘案し、作業内容は比較的簡易な作業となるため、以下の計算式により算出しています。

$$\boxed{\text{更新費用} = (\text{更新資材費用}) + (\text{労務費})}$$

2-4-5 長寿命化方針

- ・劣化状況：各施設、遊具等は現地調査に基づき、劣化判定、緊急判定結果を更新、撤去、修繕のいずれかに反映しています。
- ・供用年数：（現在年度）－（設置年度）
- ・使用見込年数：劣化モデル式による使用見込期間（全国ベース）等を参照しています。
- ・余寿命年数：（使用見込み年数）－（供用年数）
- ・管理方針：基本補修延命化（長寿命化）を前提とし、公園機能が低下することがないようにしています。延命が難しい施設については、同等の機能を有するものに更新することとして概算しています。
- ・計画修繕頻度：概ね以下に設定しています。
木製：3年、鋼製：4年、ブロック・コンクリート：5年

2-4-6 長寿命化

現状の機能維持を前提とした今後 10 年間の長寿命化に伴う概算費用は、以下のとおりとなります。

総計 55,968 千円

- ・都市公園 44,791 千円 (80.03%)
- ・児童遊園地等 11,178 千円 (19.97%)

※ただし、この費用には、以下の費用は含まれません。

- ・公園及び遊具等施設の年次点検費用
- ・除草、清掃等日常必要な維持管理費用
- ・水道、光熱費、イベント開催時に必要な管理運営費用

このコスト評価を基に以下のことを考慮に入れながら、公園施設の再編成、再整備を行う必要があります。

- ①安全・安心への配慮（劣化施設への対応、見通し、視覚や動線の改善、安全な利用環境）
- ②バリアフリー化への対応（高齢者や障がいの方へ配慮したやさしく、利用しやすい環境）
- ③防災性の向上
- ④地域コミュニティにおける公園利用 など

表 2-10 都市公園長寿命化費用及び維持管理・活用方針課題（単位：千円）

公園名	長寿命化費用	維持管理・活用方針課題
①中央公園	2,865	・余寿命超過、更新期施設が多い。(車止め、シェルター等) ・駐車場、園路等劣化進展中。(事後保全対応予定) ・再配置の検討が必要な状況と判断される。
②たか台公園	5,837	・遊具施設に劣化が進展中。(使用状況少なく、撤去が有望) ・照明ポールの劣化進展中、補修更新計画が必要。
③交通公園	13,169	・野外卓余寿命超過。(木製のため補修延命要) ・シェルター(木製)のため、大規模修繕が必要。
④航空公園	13,786	・野外卓余寿命超過施設多数。(木製のため計画的な補修延命、更新要)
⑤熱気球ふるさと公園	1,843	・著しい老朽化施設無いが、定期修繕は必要。
⑥ふれあい公園	2,564	・木製ベンチ類の劣化進展中。修繕、再配置方針が必要。「わかっか」との連携活用による機能ポテンシャルの誘導が必要。
⑦糠平中央公園	2,049	・木製デッキやベンチ類等の継続的修繕が必要。
⑧糠平文化ホール公園	2,677	・重度劣化により丸太ベンチ撤去が必要。
計	44,790	

表 2-11 児童遊園地公園長寿命化費用及び維持管理・活用方針課題（単位：千円）

公園名	長寿命化費用	維持管理・活用方針課題
①六差路児童遊園地	2,190	・シェルター、劣化及び状況から撤去有望。
②西地区児童遊園地	1,021	・遊具は安全領域等確保から早期対策が必要。 ・トイレ(木製、汲み取り)早期対策が必要。
③3の2区児童遊園地	1,034	・ベンチ(木製)、遊具余寿命期間を超過、定期修繕必要。
④16区児童遊園地	427	・スベリ台基準寸法不足、ブランコ、鉄棒早期補修要。
⑤北団地児童遊園地	1,460	・ブランコ、鉄棒、シーソー、スベリ台早期対策必要。
⑥ふれあい団地児童遊園地	1,027	・ブランコ、複合遊具、シーソー早急対策必要。 ・砂場は安全領域確保の方針検討必要。 ・背なしベンチ、シェルター早期対策必要。
⑦西地区遊園地	2,890	・鉄棒、砂場、ジャングルジムが余寿命超過。修繕の優先順位高い。
⑧9区遊園地	0	・築山と設置型倉庫のみ。他施設なし。活用方法検討必要。
⑨11区ポケットパーク	80	・3角形状の公園が2カ所に分断。活用方法検討必要。
⑩みどり団地緑地・道路用地	46	・公園面積広く、ベンチのみ設置、活用方法検討必要。
⑪みなみ野団地緑地	1,003	・屋外卓使用禁止中、補修又は撤去更新が必要。
計	11,178	